

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・公共施設の維持管理運営コスト ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・地域団体・民間事業者・学校など多様な主体との協働数 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標				主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	公共施設の集約や統廃合などを行う際に生じる跡地は原則売却し、財源の確保に努めます。また、売却困難地や公共施設の未利用スペースは、民間事業者への貸し付けを検討するなど財産の有効活用による歳入確保に努めます。	行財2-2-①	公共施設の集約等により生じた未利用財産の利活用にかかる活用実施(件)	1	1	財産利活用事業 (市有財産の有効活用の促進)	公共施設の集約化等により生じた未利用財産は、原則売却により早期の民間活用の実現を目指すとともに、潟東地域実行計画の完結を目指します。また、売却に適さない場合は、民間への貸付を促進し、財産の有効活用と歳入の増加を図ります。	○	潟東西小学校の体育館改修を終え、地域別実行計画で定めたスポーツをテーマとした民間活用の実現に向け、地域の1団体と貸付契約を締結し、体育施設としての利活用を実現することができました。	潟東地域実行計画で統合された旧潟東3小学校のうち、残る南小学校について、令和7年度にサウンディング調査を実施しました。今後は、そこで頂いた意見を参考に、実現可能な活用を検討し、廃校の利活用を目指します。
2	地域課題の解決に向け、西蒲区内のアイデアや技術を持つさまざまな人材のネットワーク形成などを進めます。		多様な人材がつながる場等の提供回数(回)	4	5	共創コミュニティ推進事業	区として「地域で活動している人たちがつながる場」を提供するとともに、一人ひとりの「場づくり」の質を高める講座などを開催します。	○	地域で活動するプレイヤーがつながる場を設けたとともに、一人ひとりの活動の質を高めるための「場づくり」の講座を開催しました。	これまでの取組を踏まえ、西蒲区の課題解決に寄与するプレイヤーの活動を支援していきます。
3	「地域力・市民力」を生かし、地域コミュニティ協議会や自治協議会とのさらなる協働を推進します。		若手・現役世代を対象としたまちづくり懇談会の参加者数(人)	50	43	若手・現役世代を対象としたまちづくり懇談会	若手・現役世代と西蒲区のまちづくりについて意見交換会を行う機会を設けます。	×	巻高校と巻総合高校の生徒を対象にワークショップを開催しました。そこでは、区の魅力・課題等について話し合い、また、区長と意見交換をすることができました。	若手との意見を行い、そこでの意見を今後の区の施策に生かしていきます。併せて若者たちへ区の魅力を再発見してもらい、地元への愛着を醸成していきます。
4	地域の次世代リーダーとなる中学生の防災学習を支援するなど、自助・共助による地域防災力の向上を図り、安心安全で災害に強いまちづくりを進めます。		実施中学校数(校) 関心度の割合(%)	6 90%以上	6 97.0%	中学生防災共育支援事業	区内の6中学校を対象とした地域防災共育の実施により、地域・防災士・行政・専門家等が支える学校防災共育体制の整備を行います。	○	巻西中(96.9%)・中之口中(95.7%)・潟東中(100%)・西川中(93.5%)・岩室中(98.4%)・巻東中(97.5%)について防災学習を実施し、各中学校とも関心度90%以上を達成しました。	引き続き区内6中学校において防災学習を実施し、防災意識の向上を図ります。
5	増加する空き家問題について、管理不全になる前に活用してもらうため、空き家バンクの利用を進めます。		空き家バンク登録(件)	10	6	空き家利活用	空き家バンクの登録件数を増やすため、補助制度も含めて西蒲区内に周知していきます。	×	区だよりやホームページ、チラシなどで周知に努めましたが、事前相談9件、登録6件であり、目標達成には至りませんでした。	引き続き、空き家利活用にに向けて、空き家バンクの周知に取り組みます。
6	区全体の情報をSNSを活用し、区内外に発信します。		SNSで区の情報を発信した件数(件)	400	533	SNSの活用	イベント、除雪、イノシシ、防災等の情報について、SNSで発信します。	○	区の情報をSNSを活用して発信することができました。	引き続き区の情報をSNSを活用して発信していきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)				概要
1	窓口サービスにおける市民満足度を向上させます。		窓口アンケートの平均点(点) 改善項目の抽出改善の実施	4.6	4.7	・窓口アンケートの実施 ・業務改善	窓口アンケートを9月までに実施し、アンケートの結果を基に改善項目を抽出します。年度後半に改善策を作成し、実行します。	○	職員の説明、接客態度で高評価をいただき、目標を達成しました。特に来庁者からの指摘事項もありませんでした。	仮設庁舎に移転するため、最初は来庁者が戸惑うことが想定されます。今後もアンケート調査を継続し、速やかに窓口対応に生かせる様、取り組みを継続していきます。
2	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	職員1人当たりの研修受講件数(件)	4	5.9	コンプライアンスの徹底、事務ミス等の発生防止に向けた職員研修の実施	職員研修等により、コンプライアンス意識の浸透を図るとともに、内部統制制度に基づき、事務ミス等の事例を共有することにより、同様のミスを起こさないよう、職員に意識させます。	○	職員全員へ複数回研修を実施し、コンプライアンス意識の浸透、徹底を図りました。当課において発生した事務ミスの事例を共有することで、同様のミスがなくなりました。	引き続き、職員の事務能力向上のため、研修の受講や勉強会等の実施を勧奨していきます。また、出張所職員の知識向上のため、区民生活課主導の研修を計画します。
3	効率的な業務執行のため、業務改善を推進します。		業務改善実施件数(件)	20	31	職員からの業務改善提案と実践	効率的な業務執行を目指し、日常業務の改善をします。	○	市民サービスの向上や業務の正確性と効率化につながる改善に努めた結果、目標値を大幅に上回って達成しました。	引き続き、効率的な業務執行を目指して業務改善に努めます。
4	ごみのないきれいな生活環境の保持に努めます。		パトロールの回数(回)	12	12	不法投棄パトロールの実施	不法投棄重点監視地点を中心に定期的なパトロールを実施します。	○	計画どおり月に1回のパトロールを実施しました。「ごみのごみを呼ぶ」状況を回避するため、覚知したごみは直ちに回収しました。	引き続きパトロールを継続するとともに確認結果をデータ化し、より効果的な防止対策を講じていきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数(全体・ うち区役所が進めた取組数) ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	岩室出張所			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	区民に寄り添った行政サービスを提供するため、親切・丁寧な窓口・電話対応を徹底します。	行財1-1-①	研修参加、実施(回)	15回/人受講	15回/人受講	研修を通じた職員の窓口対応力の向上	各種研修への参加及び窓口対応事例を用いた内部研修の実施	○	参加型やオンライン研修受講のほか、共有すべきレアケース等を中心に内部研修を重ね目標を達成しました。	多様な窓口ニーズにしっかりと対応できるよう、スキルアップ、情報共有を徹底していきます。
			簡易マニュアルの整備、更新(件)	12	13	業務システムや各種申請書受付の簡易マニュアルの整備	マニュアル一覧表をもとに、優先度の高い業務から、より実践に即した内容で、順次、整備・更新を実施	○	定型マニュアルの更新はもとより、汎用性を加味し、より実践に即したマニュアル整備、更新に努め、目標を達成しました。	窓口対応の質に差違が生じないよう、日ごろからしっかりとマニュアルを磨き、対応力の高位安定化と平準化を図っていきます。
2	コミュニティ協議会や自治会など、地域活動に取り組む団体の活動を活性化させるとともに、団体同士や行政との連携を深め、協働によるまちづくりを推進します。	行財3-2-②	コミ協事業・イベント等への派遣人員(延べ)	30	38	コミ協事業や地域イベント等の連携・支援	コミ協事業の運営支援や地域イベント等の連携協力	○	地域団体と並走するスタンスで、予定されていたイベント等、コミュニケーションをしっかりと図りながら目標を達成しました。	地域との協働は、課題解決に重要な信頼関係構築に関連することから、これからも意思疎通を図りながら進めていきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数(全体・ うち区役所が進めた取組数) ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	西川出張所			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標		指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の声を聴き取り、窓口業務等の改善に反映させ、市民サービス向上の取組を推進していきます。		業務改善件数	5件	5件	窓口アンケート等を踏まえた業務改善の実施	窓口アンケートを実施し、寄せられた市民の声や職員の気づきを参考にして、窓口業務や内部事務等の改善に取り組みます。	○	窓口アンケートや職員の気づきを踏まえ、待合いスペースの表示改善や選挙事務の庶務係チェック表の作成など、市民視点と事務の効率化に資する業務改善ができました。	今後も来庁者の声を聴きながら、利用者の利便性の向上や、事務の効率性・正確性の向上に資する業務改善に取り組んでいきます。
2	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	職場内研修回数	10回	10回	職場内研修の推進	窓口業務の対応力向上やコンプライアンス、内部統制などをテーマとした職場内研修を開催し、職員の意識や能力の向上に取り組みます。	○	窓口業務に関する研修のほか、コンプライアンス、ハラスメント防止、事務ミス防止研修など、職員の資質向上に向けた各種研修を実施しました。	変化する窓口業務に対応するための業務研修や、自治体職員としての意識や能力向上を図るため、各種の研修に取り組んでいきます。
3	自治会・町内会、地域コミュニティ協議会などの地域団体と連携した取組を推進します。	行財3-2-②	地域団体の会議・行事への参加・支援人数	40人	42人	地域コミュニティ活動の支援	地域課題等の情報を共有しながら、自主・自立性を尊重した地域コミュニティ活動の支援に取り組んでいます。	○	地域のまつりやイベントへの運営協力のほか、地域団体の会議や行事に関わり合いながら、地域課題の把握等に努めました。	今後の地域コミュニティのあり方を地域の方々と一緒に考えながら、身近な行政窓口としての役割を果たしていきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数(全体・うち区役所が進めた取組数) ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合		作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	潟東出張所				評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	地域コミュニティ協議会や自治会の事業に参画し、協働による地域の活性化を推進します。	行財3-2-②	コミュニティ協議会・自治会事業への参画支援延人数(人)	15	23	・潟東おまつり広場(どろんこカップ) ・かもんカモねぎまつり ・ふうせん潟リンピック	各地域イベント等への実行委員会、開催当日、反省会等へ参画し地域活動を支援します。	○	コミュニティ協議会が主体となって開催する地域の3イベントについて、打合せや準備、運営などに出張所として人的支援を行いました。	地域団体を中心に住民が楽しんで事業に参画し、あわせて地区外へ魅力を発信することで地域の活性化につながるよう、これからも出張所として可能な限りイベントへの人的支援を行っていきます。
2	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど、職務遂行能力の向上を図ります。	行財1-1-①	職員各々の担当業務についての職場内研修実施回数(回)	11	11	住民票、戸籍、保険年金、税など各業務の職場内研修を実施	各種業務への理解を深め、情報を共有することにより、手続きの迅速化、誤りの軽減を図り、市民の信頼と期待に応えられるよう努力します。	○	新規や内容に変更のあった業務を中心に、担当者が講師となって職場内研修を実施しました。内容の共有や理解の深化、誤りの防止などのほか、講師を努めることで説明力の向上も図りました。	業務内容の変更や増加に対応し、処理の誤り防止と職員の理解力・対応力向上により市民の期待に応えられるよう、今後も所管業務の職場内研修を実施していきます。
3	多様な働き方の組織内で、職員が能力を最大限に発揮できるよう、業務マニュアルの整備、事務改善、職場環境整備に取り組み、職員満足度を高めます。	行財1-4-②	業務簡易マニュアルの整備・更新及び改善提案件数(件)	10	11	・窓口業務、業務システムの簡易マニュアルの整備更新の実施 ・事務改善提案の実施 ・職場環境改善提案の実施	業務マニュアルの整備、事務改善、職場環境改善により、多様な働き方の職場内で、働きやすい職場環境整備を図ることにより、仕事に対する満足度を高めます。	○	制度の改正や、職場内研修の実施などに伴い、業務マニュアルの修正や作成を行いました。また、確認や情報共有の様式作成など、事務環境や職場環境の改善にも努めました。	多様な働き方のある所属で職員の満足度を高めるとともに、個々の能力が十分発揮されるよう、引き続き事務処理の改善や職場環境の改善を図っていきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数(全体・ うち区役所が進めた取組数) ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	中之口出張所			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待に応えられるよう職員の資質向上に努め、行政サービス提供における市民満足度の向上を目指します。	行財1-1-①	窓口アンケートの平均点数	過去3年間の平均点4.6点	4.7点	窓口応接研修	来庁者へ窓口アンケートを実施して、過去3年間の平均点を上回る評価を目指します。	○	前期は、4.79点、後期は4.61点で年平均4.70点と目標値を上回る評価をいただきました。	来庁者の窓口評価や声を聴きながら、利用者の利便性の向上や、事務の効率性・正確性の向上に資する業務改善に取り組んでいきます。
			「とても良い」～「とても悪い」までの5段階評価						後期に合併後の中之口地域の出来事をまとめて冊子にして、内容について職場研修を実施しました。また、関係機関には、冊子を配布しました。	人事異動があり、R8年度は業務研修を中心に実施し、事務処理を含め市民の期待にこたえられるような職場と人材育成に努めていきます。
2	地域コミュニティ協議会及び地域活性化につながる市民活動を支援します。	行財3-2-②	地域活動支援を実施(会議・行事参加及び人的支援人数)	延べ30人	延べ41人	人的支援	地域活性化につながる事業に取り組み段階から参画し、イベント当日には職員を派遣して市民活動を支援します。	○	コミ協や社協などが主体的に実施する事業や会議等に前期22人、後期19人を派遣し、事業支援に努めました。	地域の活性化につながる団体の育成と支援に企画段階から参画して、事業実施の際に人的な支援を行います。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) ・民間活力導入効果額	作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	こどもたちが安心・安全に過ごせるよう、地域の支援者が虐待の早期発見・重症化予防に向けた知識の獲得と連携の強化に努めます。		虐待に関する研修会参加者の理解度	85%	100%	こども虐待研修・子育て関係者情報交換会等の開催	子育て支援者(子育て支援センター・保育園・学校・医療機関・民生委員・社会福祉協議会等)に向けた研修・情報交換会を開催し、知識の普及や関係づくりを行います。	○	研修会4回実施し、164名参加、理解度は100%でした。 園・学校・医療機関・保健・福祉・地区組織等に向けて、こども虐待対応に関する研修と関係機関の連携強化に取り組みました。	今後も子育て支援者(保育園・学校・医療機関・民生委員等)へ知識の普及や関係づくりを行い、こども虐待の早期発見・重症化の予防に向けて取り組んでいきます。
2	支え合いの仕組みづくり推進員や地域包括支援センターなどと連携して住民主体のサービス等を創出し、地域包括ケアの持続的な進展を図ります。		地域の茶の間(月1回開催含む)と住民主体のサービスの新規創出数(件)	3	5	地域の茶の間及び住民主体のサービス創出	日常生活圏域の各圏域において、支え合いの仕組みづくり推進員と連携しながら地域の茶の間及び住民主体の訪問型支援サービスを創出します。	○	訪問Bでは中ノ口・潟東圏域1件、巻圏域1件の計2件、地域の茶の間では西川圏域1件、巻圏域2件の計3件、合計5件が新たに創設されました。創設について各団体への支援を支え合いのしくみづくり推進員と連携し行いました。	支え合いの仕組みづくり推進員と連携しながら引き続き住民主体のサービス支援の創出に向けて取り組んでいきます。
3	健康寿命延伸のための健康づくり事業に取り組み、区民自らが健康を意識し、生活習慣の改善に向けた行動ができるよう支援します。		生活習慣病予防に関する地域での健康教室等の延べ参加者数、ウォーキング記録提出者数(人)	3,400	4,623	生活習慣病予防事業西蒲区にしかん健康プロジェクト	子どもからお年寄りまで各年代向けに、健康教育や健康相談を実施し「栄養」「体操」「お口の健康」の知識の普及を行います。	○	延べ参加数:4,623人(健康教室等110回2,683人、運動普及推進委員活動150回1,510人、食生活改善推進委員活動18回287人)うちウォーキング手帳提出者143人。栄養・体操・お口の健康等を中心に健康寿命延伸に関して多世代に知識の普及を行いました。	今後も、子どもからお年寄りまで各年代が、健康寿命の延伸に向けて自主的に取り組めるよう知識の普及を行います。
4	持続可能な行政運営の確立に向け、経営資源のより効果的・効率的な配分に取り組めます。	行財1-2-①	福祉巡回バスの廃止	1	1	事業廃止	福祉巡回バスの廃止について地域への説明を行います。	○	R7.5月関係コミ協役員へ説明実施の後、R7.6月にかけて各方面の福祉巡回バスに乗り込み、直接利用者へ説明を行いました。 また、要望に応じて地域の任意サークルへ説明を併せて行いました。	住民主体の移動支援の創出に向け、支え合いの仕組みづくり推進員と連携のうえ支援していきます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・この地域で子育てをしたいと思う親の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) ・自分が健康だと思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	巻地域保健福祉センター			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
	取組指標		R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要				
1	こども家庭センターの円滑な運営に向け、体制を整備します。	子育て 4-1-③	所属内ケース検討会の実施回数	6	ケース検討10回	・関係法令・福祉と保健の役割についての研修会。 ・妊娠・子育ての研修会。(アセスメント機能の強化) ・ケース検討など	こども家庭センターの母子保健の役割である、健康の保持増進・健やかな成長の支援に関して機能が十分に発揮できるよう、制度・役割を理解しケース支援を行います。	○	定例のケース検討会の他、困難ケースの処遇検討会を10回実施しました。	アセスメントシート・台帳・サポートプラン等を活用し支援すると共に、必要に応じてケース検討会を行い、職員の資質の向上を図ります。
2	健康寿命延伸をすすめるため、成人・高齢者に対して、フレイル予防・メンタルヘルスに関する健康づくり活動を普及啓発します。	健康・保健 6-1-①	成人・高齢者に、フレイル予防・メンタルヘルスを実施した内容に関して理解できた人の割合	80%	99.3%	・介護予防健康教育	介護予防健康教育において、個々へ健康状態を確認できる特定健診の受診勧奨PRIはもちろん、フレイル予防・メンタルヘルス(自殺予防)に関する健康づくりの活動(運動・栄養・口腔・うつ)を普及啓発します。	○	フレイル予防に関する健康教育を21団体、22回実施し、99.3%の人が内容を理解したと回答しました。	健康寿命延伸に向け、フレイル予防の普及啓発を継続します。また、参加者アンケートから、質的な評価(理解度・行動変容)も行います。
3	地域包括ケアシステム構築に向け、健康意識の醸成・健康課題の改善等、地域で支え合うしくみづくりをコミ協と協働し推進します。	市民・活躍 1-1-①	健康課題の改善に向けて、コミ協と連携した事業の実施回数	7	7	コミ協との情報共有・意見交換。健康づくり事業の共催等。	地域の健康課題を踏まえ、9つのコミ協の事業において、健康寿命延伸のための健康づくりを啓発し、周知します。	○	コミ協と健康課題について話し合い・情報交換を実施し、また、健康展・健康づくり事業・防災関係の事業など7回実施しました。	コミ協だけでなく、各圏域の自治会・関係団体と地域の情報交換の中で、健康づくりを協働で啓発・推進します。
4	職員が災害時、自主的にアセスメント・判断・行動のできるための体制を整備します。	行政運営 1-4-①	初動対応の訓練実施回数。	1	1	・所属内でのマニュアルの確認。 ・初動対応の勉強会 ・避難訓練に合わせた対応訓練。	配備基準や区の災害対応マニュアルを所属内で確認し、センター開館時や、休日夜間の初動を検討します。訓練を実践し、組織としての対応や体制を強化します。	○	所属内で机上の学習会を実施後、初動の訓練を1回実施しました。物品の配置・地図の更新・アンケートで理解度の確認を併せて行いました。	スタッフが毎年入れ替わる中、自主的に自立して行動ができるよう、研修・訓練を継続します。また、アンケートから苦手と回答された部分を次年度復習します。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・農業産出額推計値 ・観光入込客数	作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	産業観光課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)			
1	西蒲区の特徴を活かした売れる作物づくりを進め、農業者の所得向上を目指します。併せて、農水産業を通じた交流人口の拡大を図るとともに、関係機関と連携した販売促進活動により、区産農産物のブランド力向上に取り組みます。	政策9-1-⑤	いちじくの新設団地1ha以上(個所)	1	0	・農林県単 ・元気な農業応援事業 ・経営安定対策事業 ・農地中間管理事業 ・畑地化促進事業	△	新規いちじく団地の開設に向け、場所の選定、面積、生産者を決定しました。 しかし、事業の更なるブラッシュアップを図る必要があり、事業申請が次年度に見送りとなりました。	「いちじく団地」は令和8年度の早期に事業申請を行い、上半期に団地造成及び定植できるように準備を進めます。 「にしかん なないろ野菜」は消費拡大に向け引き続きプロモーション活動を行うとともに、学校給食への資材提供や近隣直売所における販売流通体制の整備を進めます。
		行財3-2-③	なないろ野菜のブランド力向上と販売促進に向けたプロモーション活動件数(件)	9	9	「にしかん なないろ野菜」消費拡大支援事業		「にしかん なないろ野菜」は食品製造メーカーとの連携により、レトルトカレー・スープの商品販売に至りました。 当該商品の販売記念イベントや、図書館とコラボしたPRを実施したほか、区内及び西区の小学校6校、中学校4校で学校給食への食材提供を行い、ブランド力向上を行いました。 前期:7件、後期:2件	
2	農地の持つ自然環境の保全、良好な景観の保持などの多面的機能を維持向上させるため、適切な保全管理を推進します。	政策9-2-①	多面的機能支払交付金事業の広域活動組織の新規設立数(件)	1	1	多面的機能支払交付金事業	○	潟東地内で、1件の新規広域化組織の設立目処を立てました。(事業開始は4月1日から) また、当初計画していた一部地域での広域化目標を、西蒲区全体へ上方修正し、関係者の機運醸成を図るため、研修会を開催しました。 併せて、本庁及び関係区と連携し、広域化へ向けた事務委託の在り方について協議を行いました。	本庁及び関係区と連携しながら、広域化の実現に向けて、事務体制の構築を図るとともに、活動組織の合意形成を推進します。

3	民間事業者などとの広域連携により、隣接自治体を含む観光スポットを結ぶ三次交通を運行します。県内外からの誘客を促進し、地域経済の活性化につなげます。	政策10-1-①	にしかん観光周遊バス収支率(%)	30.0	31.4	にしかん観光周遊バスの運行事業	にしかん観光周遊ぐる〜んバスを運行し、利用促進及び利便性の向上により誘客を促進することで、地域経済の活性化を図ります。	○	年度当初から広報に注力し、期間を通してまんべんなく、新聞やSNS等の多様な媒体でPRを行ったことで、収支率、利用者数ともに目標を上回り、過去最高の数値となりました。	計画的な広報、協賛店との相互PR、電子チケットの周知等を引き続きを行うことで、更なる認知度向上と利用促進を図ります。
			にしかん観光周遊バス延べ利用者数(人)	3,500	4,272					
4	魅力的な観光コンテンツを洗い出し、磨き上げることで地域の魅力を高め、新たな魅力を発信することで、交流人口の拡大を図ります。	政策10-1-①	延べ宿泊者数(人)	135,000	122,557	ようこそにしかん誘客事業	少人数をターゲットに岩室温泉を中心としたプロモーションツールの活用により、各種広報活動やエージェントセールスを実施し、交流人口の拡大を図ります。	×	県内外(首都圏・中京圏)でのプロモーションや商談会において、観光協会と連携し、幅広くPRを行いました。インバウンドの旅行者数は前年比119%と増加傾向にあります。一方で、宿泊費の高騰や物価上昇の影響等により、日本人の国内旅行需要は全国的に減少傾向にあります。そのような状況の中、延べ宿泊者数は、目標値に対して概ね9割を達成しました。	観光協会や近隣エリアとの連携による温泉の魅力発信及びプロモーションやセールスにより宿泊者数の増加を図ります。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・仕事に対する職員満足度 ・道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)				概要
1	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	各種研修への派遣職員数(人)	70人	124人	職員の能力開発、キャリア育成	人材育成基本方針に基づき、職員に必要とされる基本的な資質・能力や階層別研修のほか、専門能力の向上及び自己開発に向けた支援を行います。	○	職員が技術研修会等へ参加できるようスケジュールを調整し、知見の取得や能力向上を図り、目標を達成することができました。	今後は、研修テーマに工夫を凝らすなど、さらなる職員の能力・資質向上に取り組んでいきます。
2	橋りょう、トンネル、横断歩道橋などの道路施設について、定期的な点検を実施します。特に施設数の多い橋りょうについては、計画的な補修に取り組み、更新時期の延伸を図ります。	政策15-1-①	二巡目点検における判定区分Ⅲの橋りょうに対する累計修繕着手率(%)	100%	100%	橋りょうの維持補修	橋りょうなどの道路施設の状態を把握するために、効率的な定期点検を実施します。また、市民の安全・安心を確保するために、定期点検により補修が必要な状態を確認した道路施設について、補修を実施し健全性を回復させることにより施設の長寿命化を推進します。 ※修繕着手率: R6年度末44%	○	健全度判定Ⅲの橋梁を75橋のうち70橋修繕しました。残る5橋は、損傷の程度が大きく、架け替えや構造変更の検討が必要となったことから、令和7年度の点検結果を確認し、早期修繕が望ましいⅡ判定の橋梁8橋を前倒しで修繕し、計画全体としては修繕の進捗を図ることができました。	今後も引き続き、市民の安全・安心を確保するために、定期点検により状態を確認、補修を実施し健全性を回復させ施設の長寿命化を推進して行きます。
3	老朽化した道路・公園等の施設を早急に修繕・整備するとともに、地域要望の早期解決に努めます。		前期末までの工事発注率(%)	80%	83%	道路・公園等の修繕事業及び整備事業	事業の平準化に取り組むとともに、事業計画に基づく工事を早期に発注します。	○	事業の平準化と地域要望の早期完遂を実現するため、計画的な工事発注と事業の進捗管理を行うことで目標を達成することができました。 ※当初計画件数35件、早期発注件数29件	工事等の早期発注は、事業の平準化や働き方改革にもつながるため、今後も地元住民との意思疎通を深め、早期に事業を実施することで、市民サービスの向上に努めます。
4	道路や水路等に設置してある排水施設を点検し、大雨時における道路交通の安全確保に努めます。		排水ポンプ施設等の点検パトロール実施数(回)	24回	24回	都市排水路維持管理事業	道路や水路等に設置してある排水ポンプ施設等を点検し、定期的にパトロールを実施します。また、大雨警報等の気象情報を参考に臨時パトロールも実施します。	○	定期的なパトロールや気象情報に基づく臨時パトロールを実施し、排水ポンプや電気施設等の不具合、障害の有無などの確認を行い、目標を達成することができました。	道路や水路及び公園等の維持・点検パトロールを継続実施するとともに、老朽化した排水ポンプを計画的に更新できるよう、予算確保に努めます。
5	市民の安心安全を確保するため、老朽化した道路照明灯を計画的に更新します。また、照明灯具のLED化を推進し、維持管理コストの縮減と環境負荷の低減に努めます。		緊急輸送道路における道路照明灯の累計LED化更新率(%)	100%	100%	交通安全・維持補修事業	道路照明灯の点検結果に基づき、老朽化した道路照明灯を計画的に更新します。(灯具のLED化含む) ※LED化更新率: R7年度末100%	○	緊急輸送道路における道路照明灯を点検結果に基づき、LED化更新工事を実施しました。 ※道路照明 284基、道路照明LED化更新済 284基	今後も引き続き、道路照明のLED化を進め、安全性の向上と環境負荷の低減に取り組めます。